

**講演会** 共に学び支え合う大切さを  
世界人権宣言68周年記念講演会

12月11日（日）／たかみや人権会館

世界人権宣言 68 周年記念事業として、関西テレビ放送の迫川緑さんを講師に迎えた講演会が開催されました。テーマは「学校も 地域も こどもが安心できる場に」。関西テレビが企画・制作を行った映画「みんなの学校」の舞台となった、大空小学校の取り組みを紹介しました。迫川氏は、大空小学校が障がいなどの有無に関わらず、全ての児童が同じ教室で学ぶことを実現したことに触れ、「同じ教室で支え学び合うことが、共に生きる力や人間性を育むことになる」と語りました。



**広報「あきたかた」が、  
もっと手軽に!**

**1 デジタルブックを採用**

パソコンもしくはタブレット横向き使用時では、ページをめくるように閲覧できます。

**2 多言語対応・音声読み上げ機能**

スマートフォンやタブレット端末で、6 言語による多言語コンテンツの同時配信を自動翻訳エンジンと連携することで実現します。多言語に対応した自動音声読み上げ機能（アプリの設定が必要です）も可能となります。（無料ビューアアプリ「Catalog Pocket」のインストールが必要となります）

※翻訳に関しては、自動翻訳エンジンを使用しています。

**閲覧の仕方**

市のホームページより、「トップページ」>「広報・刊行物」>「広報あきたかた」の中に、リンクがありますので、そこからアクセスしてください。また、右記 QR コードを読み込むことでもアクセスできます。



**コンサート** 雅楽の音色に酔いしれる！  
東儀秀樹ソロコンサート

12月11日（日）／クリスタルアージュ



市で初となる雅楽師・東儀秀樹さんのソロコンサートが行われ、会場を訪れた約 650 人が美しい音色に酔いしれました。10 月 2 日に発売を開始した一般席は、ほぼ 1 週間で完売し注目度の高さがうかがわれました。第 1 部は狩衣を身にまとった東儀さんが伝統的な雅楽の演奏を披露。第 2 部では、Y シャツに着替えポップスなどの多彩な音楽やピアノ演奏なども行われました。MC では、雅楽を分かりやすく解説。観客は日本の伝統的な文化にふれ、その素晴らしさを改めて実感していました。

**お知らせ** 災害に備えて操作方法も確認  
宝くじ財源を活用して防災資機材を整備

11月19日（土）／5丁目高樋集会所



吉田町高樋地区自主防災会が、宝くじを財源とするコミュニティ助成事業（自主防災組織育成助成事業）の採択を受け、防災資機材を整備しました。この事業は、災害から地域を守る自主防災組織の活動に対し、必要な資機材等の整備に助成されるものです。11 月 19 日の地域防災訓練にて、参加者全員で実際に使用し、組み立て方や操作方法などを確認しました。

●整備した防災用品／ヘルメット・防災頭巾・担架  
無線機・リヤカー・トイレテント・メガホン

**講演会** 人権について考える  
第22回心耕祭

12月3日（土）／八千代文化施設フォルテ

毎年人権週間に合わせて実施されている「心耕祭」が開催されました。事前の選考会で、八千代町民と町内 3 校の児童・生徒が作った標語から 18 首が選ばれ、その中から最優秀賞 1 首を決定。当日表彰式が行われました。その他、町内の児童・生徒 7 名が日頃感じている想いを語る意見発表や、「ひとりひとりが輝くために」をテーマにしたノモ・ソリューションの笹岡郁子さんによる講演会などを実施。昨年度より八千代中学校の生徒も授業の一環として参加しています。



**公開講座** 今年度最後の公開講座  
郡山城石垣の再評価  
—毛利氏の土木技術を探る—

12月4日（日）／クリスタルアージュ

市の歴史にちなんだ人物や文化財にスポットを当て、毎回異なるテーマで開催されている歴史民俗博物館の公開講座。今年度最終回となる第 6 回目の講座では、佐賀大学の宮部正登氏が郡山城の石垣をテーマに語りました。今回は、午後から現地見学会として郡山城跡に登ることも予定されていましたが、当日はあいにくの雨。午後は引き続き宮部氏が全国に視野を広げて城の石垣について解説しました。「理解を深める内容だった」といった声も寄せられ、満足度の高い講座となりました。



このコーナーは  
市内のいろいろな出来事を  
紹介するコーナーです。  
皆さんの身近な出来事  
をお知らせください。



こちらまで！

安芸高田市 政策企画課  
〒731-0592 安芸高田市吉田町吉田 791 番地  
☎42-5627 📠42-4376

**祭り** 美術館を無料開放！  
冬まつり～サードシーズン～

12月4日（日）／八千代の丘美術館



年 3 回、美術館に入館する作家の作品を展示替える際に行われている恒例のイベント。12 月は「冬まつり」と題して、ワークショップやミニコンサート、入館作家から直接、作品について解説が受けられるギャラリートークなどが行われました。ワークショップでは、クリスマスリースづくりと刺し子コースターづくりを実施。小学 1 年生から 6 年生の親子等、約 38 人がハンドメイドの楽しさを体感しました。これを機に、館内の作品も一新。冬の美術館も見所たっぷりです。